

# 「Withコロナ? Afterコロナ?」

感染管理特定認定看護師 中山 秀明



新型コロナウイルス感染症の世界的な流行(パンデミック)が起きてからもうすぐ4年が経とうとしていきます。多くの人が新型コロナウイルスを含め、『感染症にかからないための対策』を実践してきたと思います。



## 新型コロナウイルス類への緩和

令和5年5月8日より、この感染症はインフルエンザと同様の5類感染症として取り扱われるようになります。

◇感染症法に基づく陽性者

の自宅療養期間の廃止  
◇濃厚接触者という定義がなくなる

など様々な面から緩和策が図られてきたことで社会全体が大きく動き始め、徐々に穏やかな日常を取り戻しつつあります。

新型コロナウイルスに関する新聞記事やニュースを目にする機会も減ってきたのではないのでしょうか。

「コロナは終わったのでしょうか。それとも

このままコロナと共存していくのでしょうか。」

## お盆明けの急増

8月のお盆明けから当院

の発熱外来には多くの患者さんが押し寄せてきました。8月だけ見ても100名を超える陽性者が出ています。ほとんどの方は軽症でしたが、



肺炎を起して入院される方、食事が摂れず点滴に來られる方もいらつしやいました。4床あるコロナ確保病床もベツドコントロール(入退院の調整)に苦慮することがありました。

## 重症化・後遺症のリスク

新型コロナウイルスの感染により入院を余儀なくされる方、また、感染後に倦怠感(だるさ)や咳、頭痛などの症状に

悩まされる、いわゆる「後遺症」を抱える方が一定数いることも事実です。「コロナにかかっても軽症で済むから大丈夫」という声を耳にすることもありますが、それは間違いです。コロナに罹らずして過ごせるならそれが一番なのです。

ただ、感染を恐れる余り「外出しない、旅行に行かない、地域の行事に参加しない」ということではありませぬ。皆さん1人1人が最低限の感染対策を継続して行うことで、新型コロナウイルスの感染予防、そして感染拡大防止に繋がっていきま

